

No.	部会	発言の主旨	対応内容	計画内での 反映箇所
1	しごと	魅力発信の部分で、新潟の海は魅力的な資源であるので、首都圏や海のない県の方々に向け「海」や「海水浴」を加えては。	説明の中に『自然を楽しめる「海」「潟』』といったフレーズを追加します。	P 4 具体的な施策 視点3 説明
2	しごと	ビッグスワンやコンサートも大きなコンテンツであり、記載があったほうがよい。	基本的な方向の中に追加記述します。	P 1 基本的方向 視点3 文中
3	しごと	港湾施設の活用について、航路・航空路の就航先の誘致なども入れ込み、エアカーゴの活用、農産物の輸出なども視野に。	港湾施設（航路・航空路）の活用については、国県市が連携して引き続き取り組んでいきます。農産物の輸出については、具体的な施策で食品産業など成長産業化を促進を位置づけ、この中で取り組みます。	—
4	しごと	人口目標について、政府や県は2060年、市も2040年ではなく2060年を示したほうがいいのか。	新潟未来ビジョンが、2040年を人口目標を定めているので、それをベースとしているが、人口ビジョンでは2060年の目標も示すこととします。	—
5	しごと	航空機・農業の2本だけでなく、文化・医療・スポーツの3つを加え5本にしては	成長産業として、航空機・農業を特出ししています。その他の分野については、内発型産業の中含まれて整理していますが、基本的方向の中に明記することとします。	P 1 基本的方向 視点1 文中
6	しごと	創業のKPIで、開業率の逆転とあるが、逆転に意味はない。開業率を上げるでよい。	当該KPIについて、創業・起業支援延べ件数をKPIとして設定したことから、「率」のKPIは削除します。	P 3 具体的な施策 KPI
7	しごと	広域連携の視点を盛り込むべきではないか。	KPI達成に向けた取組の中に追加します。	P 4 具体的な施策 KPI達成に向けた取組
8	しごと	官民連携について、協議会などの組織を作って指標に向かって実行していくような形が必要。	総合戦略を策定した後は、「新潟市まち・ひと・しごと推進協議会（予定）」を組織して、PDCAにより効果的な施策を実施し、目標達成に向けていく予定です。	—
9	しごと	数値目標「5年後の県外からの社会動態を増」とあるが、実現可能なのか。	過去5年の転入・転出を県外に限定すると、年1000～2000人程度の転出超過となっています。産業の育成・振興を通じ、一定の雇用を確保することにより、かなり難易度は高いですが、不可能な数値ではないと考えています。	—
10	しごと	新規学卒者の採用事業所割合をKPIにしているが、U I J ターンの促進にそぐう目標数字なのか。	地元大学卒業者の県内就職率に変更します。	P 3 具体的な施策 KPI
11	しごと	成長産業として航空機などの柱が出ているが、KPIは「市内製造品出荷額」としてまらめている。産業ごとにKPIをつくらないと把握ができないのでは。	製造品出荷の内容が、複数分野あるような場合、個別の業態向けに出荷額を把握するのは困難であると考え、記載のKPIに纏めました。	P 2 具体的な施策 視点1説明 KPI
12	しごと	ビジネス客の誘致が、MICEの誘致になっていて、本当の意味でのビジネスでの来訪者の増加についてのKPIが無い。宿泊者アンケートとあるが日帰り客の満足度も調査すべきでは。	一般のビジネス客や日帰り客は、宿泊者とは異なり把握が難しく、適正な数値が獲得しにくいことから、KPIに設定しないこととします。	—
13	しごと	食品・農産物の輸出には賛成だが、「米」だけで輸出はいかがなものか。米を絡めた産業であればよいと思う。	食品・農産物の輸出状況は重要な視点であると認識しておりますが、統計データを捉えられたのは、日本酒と米菓だけでした。これらは、米消費の指標になりますが、一部の業種に限られることから、KPIとして設定することは難しいと考えています。今後、6次産業化や農商工連携、ニューフードバレーを推進する中で、支援策を検討していきます。	—
14	しごと	中小企業の育成・支援の育成の中には、経営者に対する「労働」に関する条件や環境に対する育成があってもいいのでは。	視点2 U I J ターン促進の環境づくりの中において、魅力的な労働環境づくりの視点を盛り込んでいます。また、ひと部会においても、ワーク・ライフ・バランス推進の中で、経済界や企業に向けた取組があります。	—
15	しごと	企業誘致について、新潟市の切り札が見えない。	新潟は、食品加工、機械製造について全国と比べてかなり強い力を持っている土地柄であります。これら売りに、数多の産業連関の中で、企業誘致を進めていくことが必要だと考えています。	—